作成日：2026 年 10 月 7 日

研究協力のお願い

昭和医科大学では、下記の教育研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、提出されたアンケートやレポート情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和医科大学における PBL 型多職種連携教育の学修成果の縦断的評価

１．研究の対象および研究対象期間

①②③をすべて満たす方

①2025 年度に昭和医科大学３年生（保健医療学部のみ２年生）であって、2026 年度に昭和医科大学 4 年生（保健医療学部のみ 3 年生）である学生の方 ②2025 年 11 月に学部連携 PBLII および 2026 年 6 月に学部連携 PBLIII の両方を受講し、授業後アンケートと振り返りレポートを提出した学生の方 ③将来的な「学部連携 PBL の学修成果の評価研究」へのデータ提供に同意してくださった方

２．研究目的・方法

本研究は、学部連携チーム医療 PBL を受講した学生を対象として、PBL II および翌年度に実施された PBL III におけるアンケート結果および振り返りレポートの記述を後ろ向きに解析し、多職種連携教育に対する学生の皆さんの認識ならびに学修成果・学修到達目標への到達状況とその経年的変化を明らかにすることを目的として実施します。

アンケート結果について集計して解析を行うとともに、振り返りレポートの記述について内容を分析し、学生のみなさんが多職種の専門性をどのように認識・共有・活用し、患者・家族の問題や価値観を踏まえた治療・ケア方針の検討へと結びつけているか、その学修内容および学修過程の特徴と変化を検討します。さらに、アンケートと振り返りレポートの分析結果を統合することにより、継続的な PBL 型多職種連携教育による学修の特徴とその変化を多面的に明らかにします。

本研究で利用する情報は、アンケートや振り返りレポート作成時に同意を得て収集された情報です。今回の通知は新たな研究参加への同意取得を目的とするものではなく、研究対象者に対し教育目的で取得した情報の研究利用を拒否する機会を提供するために実施するものです。研究利用を希望されない場合は、下記連絡先までお申し出ください。

３．研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028 年 3 月 31 日まで

４．研究に用いる試料・情報の種類

振り返りレポートの記載内容

授業後アンケート（特に記載のない場合は５件法）

・個人属性（学部、番号、氏名）

・今回の PBL では，プロセスごとの問題解決の仕方を理解できた。

・今回の PBL によって，学修意欲が高まった。

・講義形式の授業よりも，PBL チュートリアルという授業形態のほうが好きだ

・個人で学修するよりも，グループで学修するほうが好きだ

・他のグループメンバーとのディスカッションで問題への興味がさらに深まった

・自分が学修した内容を他のグループメンバーに説明することで理解が深まった。

・他学部（科）学生とディスカッションをしたことは自分にとってよい刺激だった。

・今回の PBL を通じて，コミュニケーションの重要性が理解できた。

・患者を取り巻くあらゆる問題を把握し，解決するためにチーム医療が重要であることが理解できた。

・自学部（科）に関連する専門的な内容について，他学部（科）学生が理解できるように 説明できた。

・他学部（科）に関連する専門的な内容について，他学部（科）学生からの説明で理解 できた。

・他学部（科）学生は，今の自分にない専門的な知識を所有していた。

・他学部（科）学生と協力して PBL の各プロセスを進めることができた。

・今回の PBL を通じて，今の自分に必要な知識や能力を再確認することができた。

・今回の PBL が終了して充実した気持ちである。

・今回の PBL では，自分が興味深いと思ったことについて，さらに学修しようと心がけた。

・今回の PBL を通じて，自己学修や他学部（科）学生への説明に，十分な準備をする必要性が理解できた。

・グループメンバー同士で相互に支えあうことができた。

・各グループメンバーの意見を傾聴し，尊重することができた。

・各グループメンバーの意見でわからないところがあれば，その都度質問をして相互理解ができるように努めた。

・グループとしての決定はグループメンバー全員の合意のもとに行われた。

・今回の PBL において，あなたの参加度を自己評価してください（単位：0~100 点の間で１０点刻みで回答）。

・プロセス１はそれぞれ円滑に、かつ効率よく進めることができた。［プロセス１（重要な情報の抽出）］

・プロセス２はそれぞれ円滑に、かつ効率よく進めることができた。［プロセス２（プロブレムマップの作成）］

・プロセス３はそれぞれ円滑に、かつ効率よく進めることができた。［プロセス３（学修項目を決める）］

・プロセス４はそれぞれ円滑に、かつ効率よく進めることができた。［プロセス４（学修成果の共有）］

・プロセス５はそれぞれ円滑に、かつ効率よく進めることができた。［プロセス５（問題点の明確化と解決策の検討）］

・プロセス６はそれぞれ円滑に、かつ効率よく進めることができた。［プロセス６（解決策を提示する）］

・今回は対面で行いましたが、小グループクラスルームの google Meet を用いて時間外にグループで集まって討議しましたか？（はい・いいえ）

・今回の学部連携ＰＢＬを行ってみて、よかったことを記述してください。（自由記述）

・今回の学部連携ＰＢＬで反省すべき点について、記述してください。（自由記述）

・TBL のように自宅から Google meet に参加してオンラインで行うグループ討議と、今回の PBL のようにように大学に登校して対面で行うグループ討議との違いについて、感じた事を記述して下さい。（自由記述）
・自分のグループを担当したファシリテータに要望があれば書いてください。（自由記述）
・将来的に、本学の PBL におけるチーム医療学習の学習成果を評価するために、今回のアンケート結果と振り返りレポートを解析し、学会や論文等で報告させて頂くことがあります。この際、匿名化され個人が特定されない形で取り扱い、万が一、同意しない場合でも成績に一切の影響はありません。研究に参加し、自分の回答やレポートが使用されることに同意しますか？（はい・いいえ）

５．外部への試料・情報の提供

該当いたしません

６．研究組織

研究責任者　　昭和医科大学薬学部薬学教育学　　福村基徳

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて学生さんもしくは学生さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも学生さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
所属：昭和医科大学薬学部薬学教育学　氏名：福村基徳
住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8142